

令和3年度 第6回タウンミーティング

能美市壮年団とのタウンミーティング

日 時 令和4年2月5日(土) 14時00分～15時30分
場 所 web Zoom 会議
参加人数 42人

1) 能美市壮年団 団長 挨拶

2) 市長 挨拶、市政報告

3) 意見交換

(参加者)

- ①3月にある知事選挙で、谷本知事の勇退が決まっている。知事が変わることによって市政への影響はあるか。

(市長)

変わってみないとわからない。今まで谷本知事、そして石川県庁からいろいろな面でご支援をいただいていた。どなたが知事になってもこれまでと同様の関係を築いて能美市の発展に対してご協力をいただきたいと思いますし、能美市をご支援いただける方に知事になっていただきたいと思っている。

(参加者)

- ②SDGsに関連して、市と壮年団のタイアップとして、能美市のホームページに壮年団のコーナーを設けていただくことは可能か。壮年団の組織や活動内容を知ってもらい、募集内容などを掲載出来たらと思っている。また、婦人会や老人クラブの協力を得て、皆さんでホームページを盛り上げてはどうか。

(市長)

ぜひ一緒にやらせていただきたいと思う。ただ、どのページに掲載するのがいいのかは、一度検討させていただきたい。能美市大図鑑というページで能美市のいろいろな施設や事業、あるいは企業、店舗、人を紹介しているが、そちらに掲載いただくことがいいかもしれない。いずれにしても壮年団の皆様方の取り組みを紹介するようなコーナーは能美市にとってもありがたいので検討させていただきたい。

(参加者)

- ③住みよさランキングについて、能美市は全国でも高い評価を受けているが、利便性だけは順位が低い。この課題について、来年度以降取り組んでいく予定はあるか。

(市長)

利便性という分野の評価は、市民が利用する店舗がどれぐらいあるかということの評価しており、確かに順位としては低いかもしれないが、能美市内でいわゆる毎日食べる食材を買う場所がないかというところとある、その他生活していく上で店舗が不足しているかというところは私にはそうではないと思っている。近隣市にあるような大きなショッピングモールを誘致しようということになると、すでに近隣にできており、そういったものを能美市に持ってくるということはなかなか難しいのではないかという思いもある。また、住みよさランキングの順位を上げるのは重要なポイントではあるが、それよりも市民の皆様ご自身が、この能美市が住みやすいなと思ってもらう方が私は大切なんじゃないかなと思っています。この住みよさランキングを上げるということももちろん取り組んでいきたいが、市民の皆様お一人お一人が能美市は住みよいと思ってもらえるように取り組んでいきたいと思っています。

(参加者)

- ④壮年団の課題として団員減少がある。当然、魅力ある壮年団活動が必要だと思うが、そもそも、能美市の人口自体も、横ばいであり、高齢者人口と外国人の方の増加を考えれば、壮年層は減少している。壮年層の人口が増えれば、子供も増え、市全体が活気付くと思うが、壮年層を増やす案として何かお考えはあるか。

(市長)

能美市というのは子育て環境がいいところなんだよということをさらにPRし、子育て環境をさらによくしようということを考えている。市内にある保育園、放課後児童クラブ等々で使う児童館を順次リニューアルしていく、休みの日でも楽しめる場所を増やす、美味しいものが食べられるお店の誘致にも積極的に取り組んでいこうと考えている。さらに具体的に言えば、能美市で起業する場合に、相談ができる、有益な情報が得られるワンストップの機能を備え、子育て世代の人に選んでもらえるまちにしようということでのいろんな取り組みを強化をしていきたいなと思っています。

また、ふるさと愛の醸成ということで、参加者のお友達が能美市に移り住みたいけど、能美市ってどんなところ？と聞かれたときに、参加者自身が能美市っていいところだよ、一緒に住もう、と言ってもらえるように、参加者の皆様方にも能美市の魅力をお伝えしたいと思うし、今日もそんな機会になればと願っている。

(参加者)

⑤コロナ対策について、私自身、非常に疑問を持っている立場の人間である。マスク着用やワクチン接種の推進などに対して懐疑的見解を持つ報道が増えており、ワクチンの危険性、コロナと普通の風邪との違いが見られないなどの声が大きくなっていることについて、市長の見解をお聞かせいただきたい。

(市長)

風邪やインフルエンザと比べて新型コロナウイルスが決定的に違うのは治療薬がないことであり、そうすると感染を防ぐということが最大の対策ということになる。そのためにマスクを着用する、3密を避ける、そしてワクチンを接種するということが現在の対策では最も有効だと考えられているわけで、能美市としてもこのワクチン接種を進め、市民の皆様方に感染予防対策の徹底を呼び掛けているという状況である。

(参加者)

今のような感染症対策に対して科学的な根拠がないという見解や、数値的なデータについて、自身でお調べになった上での判断か。

(市長)

厚生労働省や県が発表している情報から判断をしている。国としてワクチン接種を進めていることを受け、能美市でも接種を進めている。

(参加者)

⑥体育館の鍵の管理について、今体育館を借りるときは、昼までに鍵を借りに行かなければならず、そうすると仕事を抜け出して借りに行かなければならない。それを携帯を使って鍵を開けられるようにするなど、デジタル技術を使って、何かならないか。

(市長)

デジタル技術を使って鍵を開けられるようにするというのは、市内の体育施設の数などを考えると、費用の面からもなかなか難しい。代わりに、鍵の置き場所や取りに行く場所について再検討してみたい。

4) 能美市壮年団 事務局 挨拶

以上